

# 国土地理院提供データを活用したクロスメディア展開

北海道地図（株）

（代表：川越雄太）

## キーワード クロスメディア・展示・観光・教育・鳥瞰図

当社では、自社整備の地図データと、国土地理院提供の地図データを組み合わせ、地図コンテンツの **クロスメディア展開** を進めています。国土地理院の地図データを活用することで得られる詳細な地理情報により、美しい地図表現を実現しました。これを従来の紙媒体に加えて、Web・映像・アプリなどで展開し、観光や教育用途の展示物を制作しています。

### ▶ 自社整備の地図データ × 国土地理院提供の地図データ

当社の地図データベースは、国土地理院発行の1/25,000地形図や、国土基本情報基盤地図情報などをベースに整備しています。さらに、コンテンツの内容に応じて必要なデータ（5m標高データや火山標高など）をプラスして組み合わせ、地図画像の制作や映像制作を行っています。



富士山世界遺産センター（山梨県）



丘のまち郷土学館「美田」（北海道美瑛町）

ポイント

- 複数のデータを組み合わせてベースをつくり、そこからさまざまな媒体を制作します。
- 地形の起伏や建物の形状まで、非常に精度の高い表現での制作が可能です。

### ▶ 見るための地図 から 体感する地図へ

地図という媒体を、ひとりで見るだけのモノから、複数人で感想や感動を共有できるモノへと発展させたいとの思いを持って取り組んでいます。設置する場所の特性に応じて、さまざまな媒体で制作します。



丘のまち郷土学館「美田」（北海道美瑛町）



YouTube 北海道地図チャンネル



富士山世界遺産センター（山梨県）

ポイント

- 映像化することで、一方からだけではわかりにくい、地形の連なりを見て取ることができます。
- 映像と床地図を組み合わせることで、直感的に地図と映像との位置関係を把握しやすくなります。

観光スポットを紹介する情報発信ツールとして  
地理・地形学の教育コンテンツとして

幅広く活用されています。